

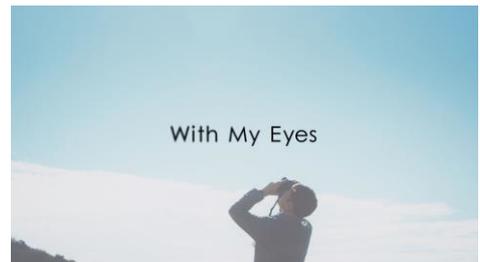
With My Eyes が第 101 回ニューヨーク ADC 賞を受賞しました

世界で最も歴史のある広告デザインの国際賞である「ニューヨーク ADC 賞」において、(株)QDレーザ(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:菅原 充)のプロジェクト「With My Eyes」が、シルバーキューブをはじめ5つの賞を受賞致しました。

「ニューヨーク ADC 賞」は 1921 年に広告美術団体「Art Directors Club」によって設立され、今年で第 101 回目を迎えた世界で最も歴史のある広告デザインの国際賞です。毎年、さまざまなクリエイティブ分野における、最高の才能と画期的な作品が表彰されています。

URL:<https://www.adcawards.org/>

今年は 54 カ国から 10,565 作品のエントリーがあり、95 のゴールドキューブ、114 のシルバーキューブ、172 のブロンズキューブ、381 のメリットが選出され、5 月 18 日にニューヨークで授賞式が行われました。



受賞したプロジェクト「With My Eyes」

この度受賞したプロジェクト「With My Eyes」は、5 人のロービジョン者が網膜投影器を備えたデジタルカメラ「RETISSA SUPER CAPTURE」を携え、写真撮影の小旅行に出かける様子を記録したドキュメンタリーです。出演者たちは自身の状況を必ずしもマイナスとは捉えず、ポジティブに生活を送っています。自分の眼でファインダーを覗いて写真撮影することは、新しい価値を見出す第一歩となりました。

【受賞内容】

Experiential Design 部門:シルバーキューブ、メリット

URL:<https://www.oneclub.org/adcaawards/showcase/101st/-item/42677>

Product Design 部門:ブロンズキューブ、メリット×2

URL:<https://www.oneclub.org/adcaawards/showcase/101st/-item/42659>

【プロジェクト概要】

タイトル: With My Eyes

URL:<https://www.qdlaser.com/>

※サイト内「Project」にて #1-3 動画を公開中

(株)QDレーザは2020年に「With My Eyes」プロジェクトを立ち上げ、協賛企業様と共に、全世界で2.5億人と推定されているロービジョン者(定義:矯正眼鏡を装着しても視覚に不自由さを抱える方)の“見えづらい”を“見える”に変える活動を続けています。

ビデオの中で出演者が使っている「RETISSA SUPER CAPTURE」は、ファインダ部に網膜投影器を取り付けたデジタルカメラです。レンズがとらえたカメラの前方の様子は、ピントの合ったカラー映像として網膜に走査されます。ズームや白黒反転、写真やビデオの撮影もできます。

■RETISSA SUPER CAPTURE 概要

- ・構成:①デジタルカメラ ②レーザプロジェクタ ③接眼投影部(片眼、網膜投影)
- ・機能:視覚支援・写真撮影・ビデオ撮影
- ・障害者自立支援機器等、開発促進事業に採択済

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部
メール:retissa@qdlaser.com

